

学校教育目標 個人の尊厳を重んじ、豊かな人格の完成をめざすとともに、素養に富んだ工業技術者として、平和と文化の創造に寄与する人物を育成する。

目指す学校像(ビジョン) ・基礎学力の確実な定着を図るとともにものづくりへの興味関心を育て、工業技術の発展に貢献する人材を育成する学校 ・望ましい職業観により目的意識を高め、生徒一人ひとりが進路実現できる学校 ・体験活動を促進し、やり遂げる力を身に付けたたくましい人間づくりを進める学校 ・全教職員が教育力の向上と魅力づくりに励み、地域・保護者から信頼される学校
--

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価規準						推進担当等			
				努力指標			成果指標						
確かな学力	社会における自らの使命と身に付けておくべき資質・能力を具体的に理解させ、目標とする進路を実現できる学力を身に付けさせる。	NO1 教科・科目の学びの楽しさを知り、学校と家庭の双方において主体的に学習に取り組む生徒を育成する。	ICTを活用した授業展開や課題などで生徒の興味関心を深め、主体的に学習に取り組める場面設定を行う。	教職員アンケート「ICTを活用した授業展開や課題を取り入れた」と回答した教職員の割合(70%)			生徒アンケート「私は、学力の向上に主体的に取り組んでいる」と回答した生徒の割合(65%)			教務部			
			4	90%以上	3	85%以上	4	85%以上	3		75%以上		
			2	80%以上	1	80%未満	2	65%以上	1		65%未満		
		NO2 意欲向上につながる指導と評価を行い、見通しを持って学習に前向きに取り組む生徒を育成する。	生徒が見通しを立てやすい課題設定や対話的な授業展開に努め、生徒の学習状況や能力等に合った指導や評価を行う。	教職員アンケート「観別学習状況の評価や振り返りシートなどを用いて、生徒の達成状況や改善点を示した」と回答した教職員の割合(70%)			生徒アンケート「私は、将来のために学習や部活動、資格取得を計画的に意欲を持って取り組んでいる」と回答した生徒の割合(84%)			教務部			
			4	85%以上	3	75%以上	4	90%以上	3		80%以上		
			2	65%以上	1	65%未満	2	70%以上	1		70%未満		
		NO3 さまざまな体験活動を通して社会で自分を活かせる希望進路を選択し、目的意識を持って粘り強く学習に取り組む生徒を育成する。	○外部と連携し、インターンシップや企業説明会、を実施することで、職業観を養うとともに進路意識を高めさせる。 ○体験活動と総合的な探究の時間をリンクさせることで、目標の設定と達成に向けた学習等の取り組みが自主的にできる生徒を育成する。 ○生徒が希望進路を選択できるようチューター面談を通して、一人ひとりに寄り添った指導を行い、その情報を共有し学校全体でサポートできる体制を整える。	教職員アンケート「市工は、チューター制の活用により生徒を支援している。」と答えた教職員の割合			生徒アンケート「私は、将来の進路を意識して粘り強く学習に取り組んでいる。」と答えた生徒の割合			進路指導部			
			4	90%以上	3	85%以上	4	90%以上	3		85%以上		
			2	80%以上	1	80%未満	2	80%以上	1		80%未満		
豊かな人間性	さまざまな学校教育活動を通して社会性や協調性を育み、他者を理解し、思いやりの心を大切にしながら協働して課題解決に努力する生徒を育成する。また、「いじめ防止等のための基本方針」に則り、いじめ防止に取り組む。	NO4 特別活動や部活動および地域へのボランティア活動を通して主体性を育て、自己有用感とソーシャルスキルを身に付けた生徒を育成する。	部活動への加入を奨励し、年間を通じて積極的かつ自主的な活動の充実を図る。地域の奉仕活動へ生徒会や各部活等で参加を促し、体験させることで、自己有用感を高め、周囲への貢献意欲を高める。	教職員アンケート「特別活動や部活動等を通して、生徒の自主・自立の力を育て、魅力的な体育祭・市工祭に取り組んだ」と回答した教職員の割合			部・同好会への加入率			特活部			
			4	85%以上	3	75%以上	4	85%以上	3		75%以上		
			2	65%以上	1	65%未満	2	65%以上	1		65%未満		
		NO5 基本的生活習慣を身に付け、自律的に行動する生徒を育成する。	多様性を尊重しつつ、生徒の実態に応じた指導を行う。また、基本的生活習慣を身につけさせるためにも自ら時間管理ができるよう担任、学年と連携を図りながら遅刻指導を強化する。	保護者アンケート「市工では、遅刻を減らすための取組をしている、市工は挨拶や服装など、規範意識の育成に取り組んでいる」と回答した保護者の割合			一日当たりの平均遅刻者数			生徒指導部			
			4	95%以上	3	90%以上	4	1人未満	3		3人以下		
			2	85%以上	1	85%未満	2	4人以下	1		5人以上		
		NO6 生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、生徒情報を共有する体制を推進し、いじめの未然防止と早期発見に努める。清掃活動を充実させる。	○生徒や保護者が保健室や相談室、スクールカウンセラーを利用しやすい環境を整える。 ○生徒や保護者の様々な悩みや配慮すべき事項に迅速に対応するために、配慮事項連絡会や生徒保障委員会において情報共有し、対応策の検討並びに必要なに応じて環境整備の提案をする。 ○保健委員会をとおして、清掃活動の推進を図り、環境美化意識の啓発に努める。	市工は、生徒の美化意識を高めるために、清掃活動に取り組んでいる、と答えた教職員の割合			市工には、悩みを話したり、相談したりできる先生がいる、と感じている生徒の割合			保健部			
			4	85%以上	3	75%以上	4	85%以上	3		75%以上		
			2	60%以上	1	60%未満	2	60%以上	1		60%未満		
		豊かな人間性	さまざまな学校教育活動を通して社会性や協調性を育み、他者を理解し、思いやりの心を大切にしながら協働して課題解決に努力する生徒を育成する。また、「いじめ防止等のための基本方針」に則り、いじめ防止に取り組む。	NO7 互いの良さを認め合い、意見や理解の違いを受け入れる力を身に付けさせることにより、いじめを生まない、いじめを許さない支持的風土づくりを進める。	○担任を中心に生徒の様子を保健部、各工業科教員、授業担当とも連携しながら観察、把握して素早く変化に気づけるような環境を整えていく。 ○生徒の問題に対しては常に複数の教員で対応し、関係部署との連携や保護者との連絡を迅速に行う。 ○生徒自身の自律を促し、多様性を尊重し受け入れて活かしていける人間性を養っていく。	教職員アンケート「私は、いじめアンケートやチューター面談によっていじめの未然防止と早期発見・解決に取り組んでいる」の満足度(95%)			生徒アンケート「市工は、安心して登校・生活できる環境である」の満足度(87%)			1学年	
					4	90%以上	3	80%以上	4	90%以上	3		80%以上
					2	70%以上	1	70%未満	2	70%以上	1		70%未満
NO7 互いの良さを認め合い、意見や理解の違いを受け入れる力を身に付けさせることにより、いじめを生まない、いじめを許さない支持的風土づくりを進める。	○学年団・生徒指導部・保健部・各教科との連携を密にすることで生徒情報の共有をし、相互理解を深め、人間関係を築ける人物を育成する。 ○進路選択への取り組みの一環として、授業規律や基本的生活習慣を確立し、自発的に行動する人物を育成する。			教職員アンケート「私は、いじめアンケートやチューター面談によっていじめの未然防止と早期発見・解決に取り組んでいる」の満足度(95%)			生徒アンケート「市工は、安心して登校・生活できる環境である」の満足度(87%)			2学年			
	4			90%以上	3	80%以上	4	90%以上	3		80%以上		
	2			70%以上	1	70%未満	2	70%以上	1		70%未満		
NO7 互いの良さを認め合い、意見や理解の違いを受け入れる力を身に付けさせることにより、いじめを生まない、いじめを許さない支持的風土づくりを進める。	○進路への取組を通して、自分の希望進路や未来を語り合える環境を作り、周囲の人との協調性や相互理解を深める機会を設定する。 ○18歳成人への取り組みの一環として、成人として持つべき、規範意識、人権意識について説諭する。 ○生徒指導部、保健部、各科との連携を密にし、いじめの防止、組織的な対応に努める。			教職員アンケート「私は、いじめアンケートやチューター面談によっていじめの未然防止と早期発見・解決に取り組んでいる」の満足度(95%)			生徒アンケート「市工は、安心して登校・生活できる環境である」の満足度(87%)			3学年			
	4			90%以上	3	80%以上	4	90%以上	3		80%以上		
	2			70%以上	1	70%未満	2	70%以上	1		70%未満		
情報発信	情報公開や開かれた学校づくりを推進し、本校教育活動への理解や関心を高め、保護者、中学校、地域との良好な関係を築く。	NO8 本校の特徴や魅力を発信し、保護者・地域、中学校からの理解と信頼を高める。	○今年度開設したInstagramとリニューアルしたHPを中心に新しい情報を発信し、本校への興味と工業高校の優位性を伝える。また、出前授業や学校説明会等を行い中学生、保護者、地域の方へ魅力を伝え、本校への進学意欲を高めてもらうよう取り組む。	オープンスクールに参加した中学生の人数			オープンスクールアンケート「市工のオープンスクールは今後の進路選択に役立つ」と回答した中学生・保護者の割合			企画・広報部			
			4	500人以上	3	400人以上	4	85%以上	3		75%以上		
			2	350人以上	1	350人未満	2	65%以上	1		60%以上		
学校行事	学校行事を円滑に効率よく実施する。	NO9 校内及び外部との調整を行い、学校教育活動を円滑に実施する。災害に備えた防災教育活動の充実を図る。	昨年度の分掌改編による仕事内容の変更で不十分であった、各分掌・各科との連携を深める。行事日程の計画立案を早め提示し、余裕を持って学校教育活動に取り組める環境を構築する。防災訓練などを通して防災についての意識を高める。	防災訓練を含む行事の日程計画立案を前の月の職員会議に提示する。			①教職員アンケート35職場環境の満足度75%以上と②防災訓練の避難時間が前回より早くなる。			総務部			
			4	100%	3	90%以上	4	①80%以上②早くなる	3		①80%以上②遅い		
			2	90%以上	1	90%未満	2	①80%未満②早い	1		①80%未満②遅い		
働きやすい学校	教育活動や組織運営など校務全般において教職員の業務の見直しや効率化を図り、教職員の健康リスクを軽減するとともに、生徒と向き合う時間を確保できる体制をつくる。	NO10 働き方改革の視点で業務改善を推進するとともに、全教職員が年間月平均勤務時間外在校等時間の45時間以下を目標にする。	教職員面談により業務改善の課題と解決策を共有し、組織的に取り組む。分掌改編による本年度の実績を来年度の業務分担任に反映させる。定時退校日を設定し、教職員全員の定時退校(完全退校時刻までの退校)を目指す。	教職員の勤務時間外在校等時間の短縮や業務改善に関する提案を出した回数。			年間月平均の勤務時間外在校等時間が45時間以上の教職員の割合			管理職			
			4	5回以上	3	4回	4	5%未満	3		10%未満		
			2	3回	1	2回以下	2	15%未満	1		15%以上		

